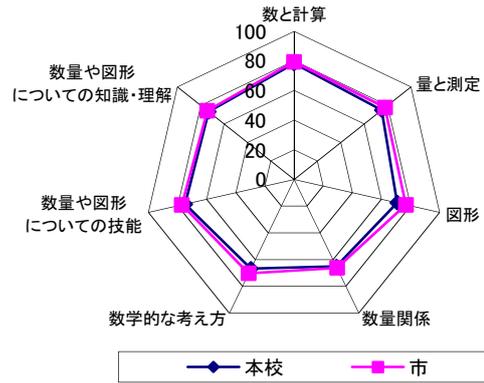


宇都宮市立宝木小学校 第4学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	78.2	79.4
	量と測定	75.0	77.9
	図形	70.8	76.8
	数量関係	65.2	66.2
観点別	数学的な考え方	66.8	70.2
	数量や図形についての技能	74.8	77.1
	数量や図形についての知識・理解	73.2	74.4



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>・平均正答率は市をやや下回っている。かけ算とわり算、分数については、市の平均を上回っていたが、小数の計算では市の平均を下回っていた。</p>	<p>・小数については、小数のたし算・ひき算でつまづいている児童がいる。これは、横式を筆算に直す時、小数点の位置を間違ったと思われる。教科書の問題をノートに復習させたい。</p>
量と測定	<p>・平均正答率は市をやや下回っている。分度器を使って示された角の大きさをはかることは、市の平均よりも3ポイント近く低く、面積もやや市の平均を下回っていた。しかし、180°より大きな角の理解は市の平均より高く、理解できていた。</p>	<p>・角度の単元では、分度器で角度を正確に測れない児童がいるので、基本的な問題から理解できるようにさせていきたい。面積では、長方形や正方形の面積を求めることはできているが、それが複合図形になってしまうと解けないということがみられるため、一つひとつの問題にじっくりと考えながら取り組ませるなど、指導していきたい。</p>
図形	<p>・平均正答率は、市の平均を下回っている。円と球、三角形について問われたものだが、応用問題に対する理解度が低い。また、二等辺三角形をコンパスで作図する問題では、市の平均より10ポイント近く低かった。</p>	<p>・円や球については理解しているが、それを使って、たとえば「箱の中にこの球はいくつ入りますか？」といった問題になってしまうと正解率が低いため、応用問題でも、しっかり考える事ができるよう、課題に取り組ませていきたい。また、三角形の作図について、理解させたり、描かせたりしながら個別指導をいねいに行きたい。</p>
数量関係	<p>・市の平均とほぼ同じであるが、折れ線グラフの読み取り方の理解は市の平均より高く、整理のしかたの二次元表の読み取り方の理解では、市の平均より8ポイント低かった。</p>	<p>・折れ線グラフからわかることを文で表現することが苦手な児童が多くいるので、日頃の指導でも分かったことを言葉で表したりまとめたりできるように指導していきたい。また、整理のしかたでは、表の中から何について問われているかを考え、必要な情報から答えを導き出すことが苦手な児童がおり、練習問題を与え、復習させていきたい。</p>